

## 研究タイトル: あいまいな情報を 計算機で扱う手法の実現



氏名:	鈴木 未央/SUZUKI Mio	E-mail:	mio@kushiro-ct.ac.jp
職名:	講師	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	日本知能情報ファジィ学会, IEEE		
キーワード:	ソフトコンピューティング, 対話型進化計算, 多変量解析, 感性情報処理		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザの好みや振る舞いの傾向の分析</li> <li>・上記を利用した検索システムや推薦システムの構築</li> </ul>		

### 研究内容:

人間が扱うあいまいな情報, 数値で表しにくい情報をコンピュータで取り扱う手法を研究しています. あいまいな情報というのは, 何かに対して感じる印象, 説明できないような感覚, 私たちが普段使っている言葉, 人の好みなどを言います.

例えば, AさんとBさんが同じ曲を聞いて「楽しい」と感じたとき, Aさんが「楽しい」と感じたポイントと, Bさんが「楽しい」と感じたポイントは同じとは限りません. これは, 曲に対して「楽しい」と感じるポイントが人によって異なっていると言えます. また, 身長が178cmあり, 日本では「背が高い」と言われていたCさんが, アメリカでは「背が低い」と言われた, というように, 状況によって感じ方が異なるということもあります.

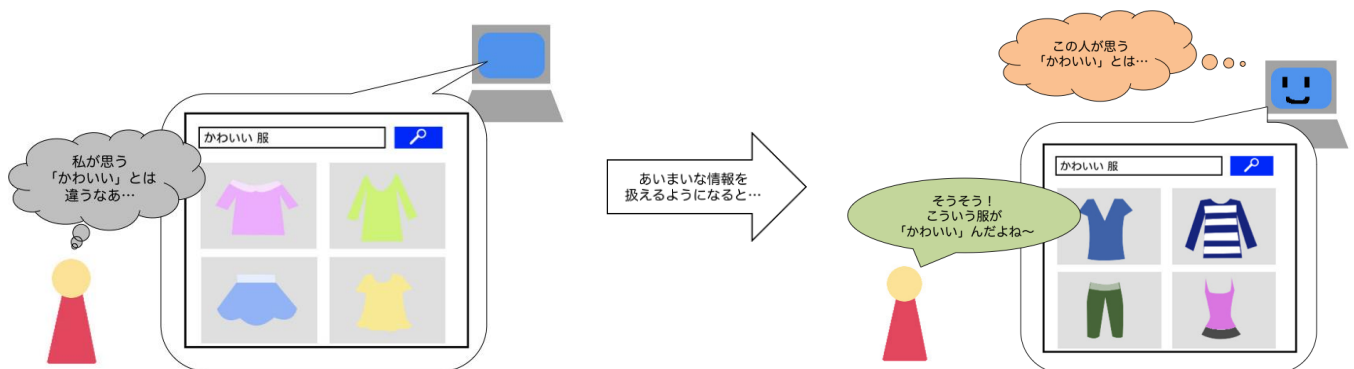
このように, 私たち人間は, 普段からあいまいな情報を取り扱っています.

コンピュータであいまいな情報を取り扱えるようにすることで,

- ・言葉や好みなど, ユーザによって変化する入力に合わせた出力ができる
- ・コンピュータを使った学習の際に, よりわかりやすく学ぶことができる
- ・人同士のコミュニケーションの手助けができる

ことが期待できます. この研究では, あいまいな情報を扱うために, 以下の技術を利用します.

- ・ソフトコンピューティング(ファジィ理論, ニューラルネットワーク, 遺伝的アルゴリズム)
- ・多変量解析



### 提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	